

環境考古学研究室のお仕事

## 骨ものがたり

2019年度  
春期特別展

2019.  
**4/23**  
**6/30**

TUE  
SUN

ウマ下顎歯

ネズミ亜科頭骨

ニホンジカ脛骨

イヌ上腕骨

イヌ頭蓋骨

骨から  
歴史を  
読み解く。

イヌササキインコノコ鹿角頂部

現生ニホンジカ落角標本

タカ科手根中手骨

コイ科尾椎

夢・田嶋ミズヒメ

現生ウマ下顎歯根露出標本

奈良文化財研究所

飛鳥資料館

休館日 | 月曜日

※ただし4/29[月・祝]～5/6[月・振休]は開館、5/7[火]は休館

開館時間 | 9:00～16:30 (入館は16:00まで)

入館料 | 一般270円(170円)、大学生130円(60円) ( )内は団体料金

高校生及び18歳未満、65歳以上(年齢のわかるものが必要)は無料

主催 | 独立行政法人 国立文化財機構 奈良文化財研究所 飛鳥資料館 後援 | 文化庁、近畿日本鉄道株式会社

奈良文化財研究所



**発掘調査**では、**獣や魚、鳥**など色々な**動物の骨**が出土することがあります。遺跡から見つかる骨は、長い歴史の中で偶然残ったものがほとんどで、土の中で色が変わっていたり、破片になっていたります。発掘現場で見落としてしまいそうな小さな骨も、よく**観察**してみると、細かい傷や変形した部分などが見つかります。

どうしてこのような**痕跡**が骨に残っているのでしょうか？ その**謎を紐解**いていくと、昔の人が動物をさばいていた様子や、人々と共に働く動物たちの生き生きとした姿がよみがえります。遺跡から出土する骨は、**動物と人の関わり方**、そして、かつての**人々の暮らしを知る上で重要な情報**を持っている研究資料なのです。



奈良文化財研究所では、**環境考古学研究室**が中心となって、考古学的な視点から動物の骨に関わる調査研究をおこなっています。今回の展覧会では、東日本大震災の復興調査支援で分析している**縄文時代の巨大マグロの骨**や、飛鳥時代・奈良時代の遺跡で見つかった骨にスポットを当てて、環境考古学研究室の調査研究により見えてきた、驚くべき古代の人々と動物との関わりを紹介します。

**骨に隠された古代の歴史**、そして、その**歴史を明らかにする研究の舞台裏**をお楽しみください。

#### ○イベント1

### 「研究員を展示！」

奈良文化財研究所の研究員が調査する姿を、展示室で間近に見られる特別企画です。

◆5月10日【金】13:30～16:00

◆5月17日【金】13:30～16:00

※事前申込不要。

#### ○イベント2

### 「体験！研究員のお仕事」

奈良文化財研究所の研究員と一緒に、実物の骨を使った調査研究を体験できるイベントです。

また、動物考古学の研究の最前線をご紹介します。

◆6月9日【日】【子供向け】13:30～

※対象：小学生以上（小学生は保護者同伴）。

◆6月21日【金】【大人向け】13:30～

※両日とも要事前申込（多数の場合は抽選）。定員各日20名。

参加無料（要入館料）。

#### 【イベント2の申込方法】

E-mailまたは往復はがき以下の必要項目をご記入の上、「春展イベント参加希望」と明記して、5月26【日】までにお申込みください（往復はがきの場合は、当日消印有効）。

〈必要項目〉①参加希望日 ②代表者の氏名・年齢 ③代表者の郵便番号・住所 ④代表者の電話番号 ⑤その他の参加者の氏名・年齢（1回の申込で代表者を入れて2名まで申込みできます）※お申込後、2週間程度で返信が届かない場合は、ご連絡ください。※メール申込の方は、@nabunken.go.jpからのメールを受信できるように設定してください。

#### 【お問い合わせ・イベント2の申込】

〒634-0102 奈良県高市郡明日香村奥山601 飛鳥資料館 イベント係

電話：0744-54-3561

E-mail info.shiryokan@nabunken.go.jp

#### | 交通案内 |

○近鉄橿原神宮前駅・飛鳥駅から

明日香周遊バス（赤かめ）で「明日香奥山・飛鳥資料館西」下車。

○近鉄・JR桜井駅から

奈良交通バス（36系統：明日香奥山・飛鳥資料館西行）で「飛鳥資料館」下車。

